

～アンケートより抜粋～

大切な方を失った方の生の声を初めて聞きました。私はホスピスで3年間働いていましたが、見送った後の遺族の方がどのようにすごされているのか、どのようなお気持ちでおられるのか、知る機会が今までありませんでした。改めてグリーフケアの大切さを感じることができました。(M.D.)

大切な人を亡くされた時には、後々、後悔や自分を責めることもあるとお思います。少しずつ自分と向き合っ、家族とともに一歩ずつ前へ進んでおられることにすごいと思いました。(K.D.)

木本さんの率直なお話が、ことばを大切にされる話し方が、とっても印象的でした。仕事をやめられてから、様々な活動に取り組みされたことも、その前向きな姿勢に、感銘を受けました。(I.S.)

生き方が素敵でした。奥さまを亡くされたことがあったから今があるのですが……。生きていくこと、発信していくこと、小さなことでも大事なことと思いました。(匿名)

とてもいい言葉を聞かせていただきました。親の介護する立場として看取りの後の私自身が立つ治れるか、今模索中です。それぞれに向き合い方が違っていいんだなと思いました。(匿名)

今を懸命に生きる中に命の輝き、美しさを感じた。体験こそ生きた真実であり、患者さんを含め、その方が生きてきた今はその人の真実、物語があつての今であるということ大切に私達がここに在るという在り方が大切だと改めて感じた。(Y.Y.)

子供たちの成長を近くでいることで、自分の力になるのかなぁ～と思いました。(匿名)

亡くなられても「ずっと5人家族」のお話を聴かせていただいたように思います(E.T.)